



心 友

№20

令和8年3月11日(水)発行
四万十市立中村西中学校
文責(校長)小野川 憲

卒業おめでとう！

今日は3年生の卒業式。70名の生徒が本校を巣立ちました。

「志をもって、未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、取り組んできました。義務教育の9年間を終え、自分が決めたそれぞれのステージで、活躍できることを願っています。



式 辞

穏やかな春の光が四万十の山々に降り注ぐ、今日、3月11日。この佳き日に、四万十市教育委員会 町田教育委員様はじめ、ご来賓の方々と、保護者・ご家族の皆様のご臨席を賜り、中村西中学校 第四十一回卒業証書授与式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。東日本大震災から15年という、命の尊さを改めて心に刻むこの日に、この学び舎を巣立っていく皆さんの凛とした姿は、私たちの希望そのものです。

三年間の中学校の課程をめでたく卒業される70名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、卒業証書を受け取り、三年間の様々な出来事が脳裏を駆け巡っていることと思います。

この3年間を振り返ると、皆さんの成長していった真摯な姿が思い起こされます。

運動会では、勝敗にもしっかりとこだわり最後まで力を尽くす姿がありました。競技に向かう真剣なまなざし、仲間を思いやる応援の声、陰で支える係りの責任ある行動。その1つ1つが、学級や学年の絆を深め、学校に大きな活力をもたらしました。

つどい祭では、お互いの意見に耳を傾けながら創意工夫を重ね、自分たちの歌をつくり上げ、聴く人に感動を与える思いのこもった歌を届けました。

各行事で、思うように進まないことがあっても、対話を重ね、より良いものを目指す姿勢は、皆さんの確かな成長を感じさせるものでした。

部活動においても、日々の努力を積み重ね、それぞれの場で力を発揮しました。各種大会での活躍は本校の誇りであり、とりわけ男子駅伝部の全国大会出場は、多くの感動を与えてくれました。しかし、何より尊いのは、結果に至るまでの皆さんの歩みです。苦しい練習の中でも仲間と励まし合い、自分の課題と向き合い続けた時間は、皆さんの内面・心を大きく育てました。

また、昨年度から本校が大切にしてきた探究学習においても、皆さんは真剣に取り組みました。正解の定まらない問いに向き合い、自ら課題を見だし、調べ、考え、発信する。その過程で培われたのは、知識の量以上に、「自ら考える姿勢」であったと思います。決して容易な学びではなかったはずですが、それぞれが自分なりの歩みを重ねてきました。

ここで、卒業する皆さんに一つの言葉を贈ります。

それは、『アンパンマン』の生みの親であるやなせたかしさんの言葉です。

「絶望の隣には、いつも希望がそっと座っている。」



この言葉は、NHKの連続テレビ小説「あんぱん」でも紹介され、多くの人々の心に深く響きました。やなせさんは、困難な時代を生きる中で、何度も立ち止まり、悩み、それでもなお問い続けました。そしてたどり着いたのが、「誰かのために力を尽くす」という生き方でした。

絶望と希望は、遠く離れた場所にあるのではなく、実は隣り合っている。この言葉は、私たちに静かに、しかし力強く語りかけています。

これからの歩みの中で、思い通りにならないこともあると思います。努力の成果がすぐには見えないこともあるかもしれませんが、そのようなときにも、すぐそばにある小さな希望に目を向ける心を忘れないでください。仲間の存在、家族の支え、自分の中に芽生えるわずかな前向きな思い、そうしたものが、次の一步を支えてくれます。

三年間の中村西中学校の生活で培った経験は、皆さんの中に確かに息づいています。行事で学んだ協働の喜び、部活動で培った努力の尊さ、探究で重ねた思索の時間。それらは、皆さんがこれから歩む道を、静かに照らしてくれることでしょう。

四万十川の流れは、時に穏やかに、時に力強く、この地を潤し続けています。皆さんもまた、それぞれの歩幅で、焦らず、着実に歩んでください。そして、いつの日か、自分だけでなく、周囲も温かく照らす存在になってくれることを願っています。

保護者の皆さま、お子様のご卒業、誠に、おめでとうございます。また、これまで、本校の教育活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。お子様の成長を信じ、寄り添い、支え続けてこられた日々があったからこそ、本日の晴れ姿があります。教職員一同、深く敬意を表します。

卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時になりました。新たなステージに向かう70名の皆さんの限りない前途に、幸多きことを願い、式辞といたします。



令和8年3月11日

四万十市立中村西中学校 校長 小野川憲

1・2年生の皆さん。3年生からバトンが渡されました。これから、どんな学校の歴史を創るのか、楽しみにしています。先輩たちが繋いできた伝統や文化を大切にしながら、頑張っていきましょう。

先日の3年生を送る会では、生徒会執行部を中心に企画や運営、ありがとうございました。各学級で話し合いをもち、各学級のカラーがあり、3年生への思いが伝わる発表になっていました。卒業生へ、1・2年生の皆さんの感謝の気持ちは、十分に伝わっていたと思います。

送る会では、「次は自分たちが西中を引っ張っていきます。安心して卒業してください。」という力強い言葉を聞くこともできました。頑張っていきましょう。

